

続々出産！この夏子どもを産んだメスイルカたち

イルカ通信No.121では、妊娠中・出産したイルカを一部ご紹介しました。その後、新生児を連れて泳ぐ個体が新たに2頭発見されました。今シーズンは、これで3頭の出産が確認されたこととなります。今号では、前回掲載した#266 (EYE) に続いて、出産が確認された2頭についてお知らせします。

#303 シャープ (メス) 観察歴：2015年～
確認海域：聳島列島のみ



イルカ通信No.121にて今年度妊娠が確認されたことをご報告した個体。2024年8月11日に新生児を連れてくる様子が見られました。出産が確認されたのは3回目になります。背ビレがとがった形をしていることが名前の由来です。

#210 C子ちゃん (メス) 観察歴：2006年～
確認海域：聳島列島のみ



子どもを産むのは2年連続で、今回が5回目の出産になります。昨年度の出産については、イルカ通信No.116に掲載しています。今年度は、2024年9月22日に新生児を連れてくる様子が見られました。左胸ビレにある「C」の形の白斑が特徴です。

小笠原で暮らすイルカたち～2024年に新たに名付けられた個体～

当協会では、出生後に特徴が出現した個体や新規発見された個体に名前を付けています。ここでは、今年名前が付けられた個体について紹介いたします。

#406 かがみもち 2022年出生 (メス)



#304 (チョイセ) の子ども。左胸ビレにある白斑が鏡餅のように見えることが名前の由来です。

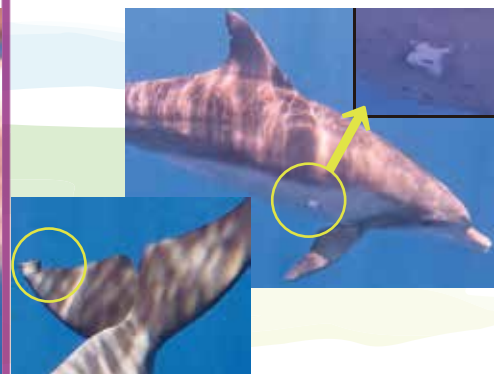
#407 パンダ 2023出生 (メス)



写真提供：打込みゆき

#173 (ミカワ) の子ども。目の周りが黒くなっていたためパンダと名付けられました。

#412 アイロン 2024年初確認 性別不明



聳島海域で初発見された個体。白斑と尾ビレの欠けがアイロンに似た形であることが名前の由来です。